

令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞

推薦
期限※

令和7年

9月22日 月 17時

※上記は推薦機関から文部科学省への推薦期限です。

表彰対象

優れた創意工夫によって、飛躍的な作業能率の向上、製品の品質の向上、コストの大幅な削減、未利用資源の活用、作物の増収、品種改良、傷害防止、公害・災害の防止など、職域での技術等の改善向上に貢献した者を対象としています。

文部科学省HPに受賞事例集も掲載していますので、右のQRコードから参照してください。



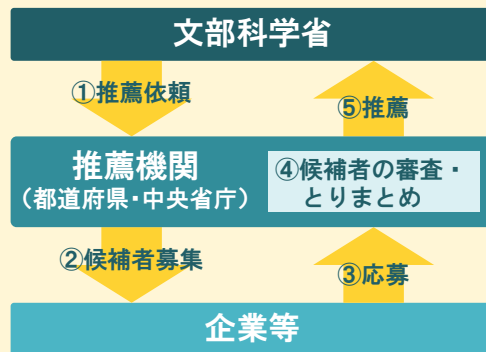
受賞事例集

応募方法

- ・推薦機関(勤務先が所在する都道府県※)を通して応募してください。
- ・推薦機関ごとに応募方法や期限等が異なります。詳細は推薦機関へお問合せください。

※中央省庁所管の団体に勤務する職員等の場合、中央省庁が推薦機関となります。

＜候補者推薦の流れ＞



申請書類等

推薦要領及び申請書類等は、文部科学省HPに掲載しています。右のQRコードのリンク先から様式等をダウンロードの上、必要な書類を作成及び提出してください。



申請書類等

スケジュール

令和7年5月23日
推薦募集開始

推薦締切
(推薦機関)

令和7年9月22日
推薦締切
(文部科学省)

審査

令和8年4月上旬
受賞者公表

伝達式
(推薦機関)



文部科学省

候補調査書の作成のポイント（1/2）

【様式創工 1】候補調査書は、以下のポイントを参考に、わかりやすく作成してください。

5. 創意工夫の内容及び実績 ＜創意工夫の概要＞

①創意工夫の内容

(1) 背景・着眼点

担当する作業内容と、その現状や問題点など、創意工夫に至った背景を具体的に、分かりやすく記載してください。

専門家以外の者でも
分かるように記載！

(2) 創意工夫内容（考案点、改良点）

考案点・改良点の創意工夫内容のポイントを具体的に分かりやすく記載してください。
（図表や画像データ等の使用は不可）

抽象的で分かりづらいものは
評価できないので要注意！

②創意工夫の実績

創意工夫による実績、効果を記載

創意工夫による実績や効果について、①効率面、②品質面、③費用面、④安全面の観点から、数値化して記載してください。
（図表や画像データ等の使用は不可）

考案・改善しただけではなく、
実績や効果を具体的に数値化して記載！

候補調査書は、「創意工夫に至る問題点などの背景」、「具体的な考案点・改善点」、「その実績や効果」について、 ➡ の流れで分かりやすく明確に記載してください。

候補調査書の作成のポイント（2/2）

【様式創工 1】候補調査書は、以下のポイントを参考に、わかりやすく作成してください。

＜創意工夫の内容（考案点・改良点）の詳細＞

工夫前（従来）

工夫後（考案・改良後）

具体的な創意工夫の内容を写真や図を用いて、工夫前と後の違いや考案点・改良点を説明を加えて分かりやすく記載してください。

どのような考案、改良を行ったのか
説明等も加えて専門家以外でも
分かるように記載！

候補調査書の作成例（1/2）

【様式創工 1】候補調査書は、以下の例を参考に、わかりやすく作成してください。

※受賞事例集も参考にしてください。（https://www.mext.go.jp/content/20240524-mxt_sinkou02-000029650_5.pdf）

5. 創意工夫の内容及び実績

＜創意工夫の概要＞

①創意工夫の内容

（1）背景・着眼点

〇〇工程では、〇〇コンベアのメンテナンスとして、〇〇作業を年 2 回の頻度で行うことになっているが、当作業は……という過酷な環境のもとでの作業であり、1 回の作業に時間がかかっていることが課題となっている。

（2）創意工夫の内容（考案点・改良点）

〇〇と〇〇を組み合わせ、〇〇機構とする〇〇装置を考案した。

＜考案点のポイント＞

- ①……の作業工程を削減できる。
- ②……の設定が容易にできる。
- ③……が熟練者でなくとも可能である。

②創意工夫の実績

＜効率面＞

【改善前】手作業による作業時間

$$\bigcirc\text{分} \times \bigcirc\text{箇所} \times 2\text{回} / \text{年} = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年} \cdots \cdots (1)$$

【改善後】〇〇装置を使用した場合の作業時間

$$\bigcirc\text{分} \times \bigcirc\text{箇所} \times 2\text{回} / \text{年} = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年} \cdots \cdots (2)$$

$$(1) - (2) = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年の短縮}$$

＜費用面＞

・金額効果／年

$$((1) - (2)) \times \text{人件費}\bigcirc\bigcirc\text{円} - \text{改善費用}\bigcirc\bigcirc\text{円} = \bigcirc\bigcirc\text{円}$$

・従来の交換費用が不要となり、年額〇〇〇円を削減

＜品質面＞

・不良品の発生が、【改善前】〇〇〇件から【改善後】〇〇件となり、〇〇%の品質面向上

＜安全面＞

・今回の改善により、……の点で作業負担が大きく軽減し、また災害リスクもレベル〇からレベル〇に改善した。

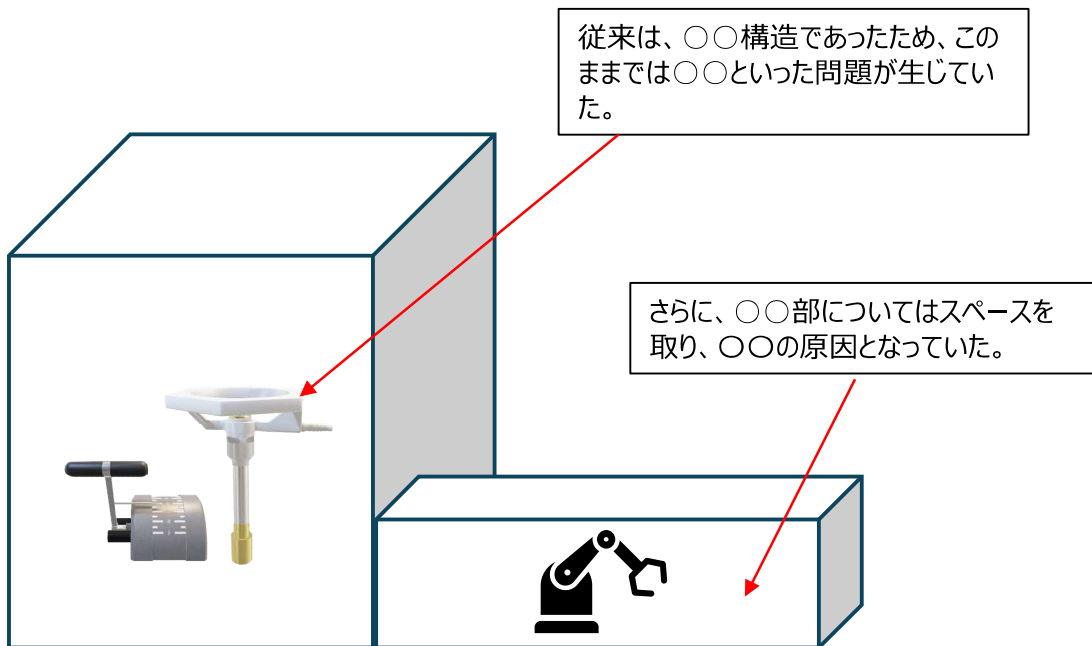
候補調査書の作成例（2/2）

【様式創工 1】候補調査書は、以下の例を参考に、わかりやすく作成してください。

※受賞事例集も参考にしてください。（https://www.mext.go.jp/content/20250523-mxt_sinkou01-000029650_5.pdf）

＜創意工夫の内容（考案点・改良点）の詳細＞

工夫前（従来）



工夫後（考案・改良後）

